










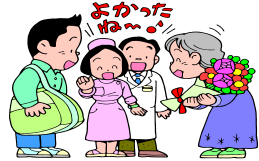


人工膝関節置換術を受けられる患者さんへ

この予定表は一般的・標準的な経過を一覧表にしたものです。患者さんの状態により変わることがあります。

項目	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目 月 日 ~退院まで	退院後からの注意事項
達成目標	手術に向けて体と心の準備ができる。 手術後の状態について理解でき不明な点は医療者に質問し理解できる。 発熱がない。 手術に必要な物品の準備ができる。		手術に向けて体と心の準備ができる。 食べたり飲んだり出来ないことが守れる。	ベッド上安静を守る事ができる。 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 足関節の底背屈運動することで、足の血流を促し、肺塞栓を予防することができる。 腓骨神経(ひざ下の外側にある神経)の圧迫を防止し、その神経が麻痺しないようにする。 ヒップアップをすることで、床ずれができるのを予防できる。	ドレーンが抜けて車椅子に移乗できる。 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 リハビリテーションに参加できる。 安静度が理解できる。 足関節の底背屈運動ができる。 劇痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 持続的他動運動を実施できる。	転倒予防行動をとることができる。 発熱がない。 リハビリテーションに参加できる。 足関節の底背屈運動ができる。 劇痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。	転倒予防行動をとることができる。 発熱がない。 リハビリテーションに参加できる。 足関節の底背屈運動ができる。 劇痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。	
治療・薬剤(点滴・内服)・リハビリ	持ってきた薬を看護師に渡してください。 薬は薬剤師に鑑定してもらいます。 夕食後内服する薬は鑑定後に患者様に返します。 自分で薬を内服することが難しい方は看護師が配ります。	内服薬は看護師が預かります。 手術後しばらくは看護師が配薬します 21時頃に下剤を飲みます。 	手術日の朝の5時~6時に洗顔を行います。 指示された薬のみ内服します。 手術は()番目です。 1番目の方は8時頃に手術室へ行きます。 2番目以降の方は、連絡が来たら手術室へ行きます。 2番目以降の方は()時頃に点滴をします。	点滴、酸素マスク、ドレーン、痛み止めの管、尿の管があります。 心電図モニターを装着します。 肺塞栓予防のために足元にはフットポンプがつきます。 痛みがあるときは痛み止めを使いますのでお知らせください。 	内服薬が再開になります。 自己管理が出来るまで看護師が配薬します。 抗生物質の点滴が朝と夕にあります。 	傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます。 ドレーンが抜けた日から持続的他動運動が始まります。 また、リハビリテーション室でのリハビリが始まります。リハビリテーション室は2階にあり、時間は朝看護師が伝えます。	手術後11日~14日の間に傷を確認し抜糸を行います。 リハビリテーションを頑張りますよ。	<退院後の生活について> (洋式トイレの使用) 和式トイレにはかぶせ式便座やポータブルトイレを使用します。 (入浴の際の注意点) 滑り止めや浴用椅子を使用しましょう。 (体重コントロールについて) 標準体重を目標としましょう。 (感染予防について) 手術した傷の異変や発熱が持続するなど、異常を感じた場合は必ず1に医療機関を受診してください。 (転倒予防について) 入院中に実践していた転倒予防行動を継続し、転倒に注意してください。 (外来受診とリハビリテーションについて) 定期的な外来受診や、リハビリテーションを継続します。 (内服について) 退院後も続く内服薬がある場合は継続して内服します。退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安な事がありましたら下記連絡先にお電話ください。 ◎平日 8時~16時(火・水・金) 整形外科外来 (0985) 85-9885 ◎時間外、土、日、祝日 2階東病棟 (0985)85-1743
検査	昼食の前に採血があります。 心電図、肺機能、レントゲンは昼食後に行われます。検査の呼び出しは連絡があるのでお待ちください。 尿検査がある方は尿コップを渡します。尿検査は15時までに提出します。 	手術のための検査を行います。	手術後に採血があります。	朝に採血をします。 	必要に応じて採血やレントゲン撮影を行います。			
活動・安静度	特に制限はありません。 転倒予防のため必ず靴を履きましょう。	特に制限はありません。	ドレーンが抜けるまでベッド上で安静に過ごします。 ナースコールを押して看護師を呼んでください。	ドレーンが抜けるまでベッド上で安静に過ごします。 ナースコールを押して看護師を呼んでください。	車椅子に移乗します。初回の移乗は医師と一緒にいきます。 2回目以降も必ず看護師と一緒に移動しますので、排泄や移動の際は看護師にお知らせください。移動を助かります。 	車椅子への移乗動作が安定し医師の許可があれば1人での移乗する事が可能になります。 また医師の指示のもと歩行器を使用した歩行を行います。		
食事	昼食よりお部屋の方に配膳します。 食事でアレルギーがある方はお知らせください。 	()時から食べることができません。 ()時から飲むことができません。	食べたり飲んだりできません。	食べることではできません。 腸の動きを看護師が確認し、動いていれば水分を飲み始めます。	手術前と同様の食事が始まります。			
清潔	1人でシャワー浴が行える方は予約を入れてください。 シャワー浴の介助が必要な方は清潔ケアの計画を立てます。 体に傷がある際はお知らせください。 テープで傷くっついたことがある際はお知らせください。	必要な部位の除毛を行います。 爪切りを行います。 化粧やマニキュア等はとってください。 シャワー浴ができます。	入浴や清拭はできません。	看護師が体を拭きます。 医師の許可が出るまでシャワー浴はできません。 髪や足を洗うことも患者さんと話し合いながら計画を立てています。 	傷の抜糸が終わわり、医師が確認した上で、シャワー浴の許可が出ます。 許可が出たら、シャワー浴のお手伝いをします。			
排泄	制限はありません。 	特に制限はありません。	尿の管は入れたままです。 便意がある時は看護師にお知らせください。歩行することができないので、ベッド上で排泄することになります。	尿管の管を抜きます。 排尿と排便はトイレで行う事ができます。				
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	病棟の案内を行います。 クリニックバスに沿って術前オリエンテーションを実施します。 主治医と麻酔科の医師より説明があります。手術に必要な以下の同意書を記入し、看護師に提出してください。 手術説明同意書 輸血同意書 特定製剤由来同意書 リハビリ同意書 麻酔同意書 保険の診断書がありましたら、早めに1階総合案内専用窓口に出して下さい	術前オリエンテーションを行います。 深呼吸の訓練をしましょう。 タバコを吸ってははいけません。 車椅子に乗る練習をします。 術後は、病室が変わりますので部屋移動について説明します。	手術着に着替えて弾性ストッキングを着用して手術室にストレッチャーで行きます。 手術室は3階です。 指輪、義歯、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類をはずしてください。 マニキュアや化粧は落として下さい。 ご家族は、手術開始の30分前には直接病棟へお越しください。 手術中ご家族は2階のデイルームまたはお部屋でお待ちいただけます。	転倒予防に注意しましょう。 ・左右確認を行いゆっくり移動しましょう。 ・身の回りの整理整頓を行いましょう。 ・必ずストッパーの確認をしましょう。 ・履き慣れた靴を使用しましょう。	主治医の指示のもと弾性ストッキングを脱ぐことができます。 病棟の事務職員(クラーク)が会計計算票を病室までお持ちします。病室でお待ちください。尚、保険等の書類がありましたら、早めにクラークへお渡しください。			
手術の準備物品	術前までに以下の必要物品を準備してください。 T字帯2枚 オムツ1~2枚 手術当日より、病衣借用が必要となります(1日80円)ので、専用の申込用紙に記入し入院総合案内受付に提出してください。使用しなくなった場合、使用中の中止の手続きが必要です。 手術後は肺塞栓予防の弾性ストッキングを着用します。看護師がサイズを測り準備します。リハビリテーションが開始しますので、履き慣れた靴や動きやすいようにスポンを準備します。							

注:イラストはMPCGのイラスト集より転載